

めあて

二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取る。

具体例

昔から雨をいろいろな名前前で呼んできました

「春雨」「梅雨」「五月雨」「夕立」「時雨」

「みぞれ」「きりさめ」「こぬか雨」

「にわか雨」「通り雨」

見方を変える

「数え方でみがく日本語」序論

数え方を変えるのはめんどうだ

「つ」や「個」で数えたらどうなるか

逆に不便になってしまう

≪二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」≫

説明の技	
示す	物事に対する見方を変えて、新しい見方を示すという論の進め方をしている。
読む	たくさんの具体例を挙げながら説明している。

【3 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「豊かな日本語の使い手になろう」③
本時のねらい

二つの文章のどちらの文章にも使われている「説明の技」を読み取らせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

○ 学習計画表を基に前時までの学習を振り返らせ、本時は二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」を読み取るという見通しをもたせる。

2 二つの文章に挙げられている具体例を読み取る。

○ 具体例をまとめた言葉を教師が示し、青い線を引かせる。

※ 「それぞれの教材文の具体例」(別紙)を参考にして、具体例をまとめた言葉を示してください。

○ 教師が示した言葉に対応する具体例に赤い線を引かせる。

○ 赤い線を引かせながら、どちらの文章にも具体例が数多く示されていることに気付かせる。

3 物事に対する見方を変えて、新しい見方を示すという論の進め方を読み取る。

○ 「数え方でみがく日本語」の序論を読ませ、物事に対する見方を変えて、新しい見方を示すという論の進め方が用いられていることに気付かせる。

※ 「しかし」「それなら」という接続語に着目させると気付かせやすいです。

○ 「雨のいろいろ」で同じような論の進め方が用いられている部分を見付けさせる。

・ 雨は、地球上のどこで降っても呼んできました。(九十八ページ三行目から)

4 二つの文章のどちらにも使われている「説明の技」をまとめる。

○ 「説明の技」についてワークシートの表に整理して書かせる。

(読ウ)

5 本時の学習の振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 意見文にまとめるときには、筆者の「説明の技」を使いながら書くことを伝える。

○ ワークシートで自己評価をさせる。

○ 次時は、「数え方でみがく日本語」だけに使われている「説明の技」を読み取っていくことを知らせる。